

文鳥のごはんの食べ方を観察する② ～続・続 文鳥の成長記録～ 修斉小学校 6年 西村美咲

①動機

前回換羽中だった文鳥と今年は換羽していない場合でごはんの食べ方に差があるかどうか観察する。
5月にもう1羽文鳥を迎えたので、2羽の差を観察し、何か違いや共通点があるか検証する。

②観察方法

(1)前回同様、5日間の小松菜の食べ方の観察

- 昨年との差
- スノー(成鳥)とだいいふく(幼鳥)との差

(2)1粒ずつ置いてごはん(シード)のどれを一番先に食べるか?

前回同様9種類のシードに生米とボレー粉を合わせて11種類で検証する。

(3)9種のシード+生米+ボレー粉の粒を1gずつに分けて1日(24時間)で2羽の文鳥が食べた量や好き嫌いがあるかの検証。

昨年との違いや共通点について。

(4)シード粒を食べるスピードと食べ散らかしの差について考える。

スノー(成鳥)とだいいふく(幼鳥)に同じごはん(生米)を1粒与えたときの飲み込む早さの観察。

スノー
メス
白文鳥
2歳6ヶ月(成鳥)
換羽していない



だいいふく
性別不明
シルバー文鳥
5ヶ月(幼鳥)
ヒナ換羽中



③結果

(1)5日間の小松菜の食べ方

毎日小松菜を2本ずつ用意し、野菜台にセットする。その日の気温と湿度も記録する。

	スノー(成鳥)	だいいふく(幼鳥)	気づいた事
1日目 AM10時/気温28度/湿度57% PM9時/気温27度/湿度53%	昨年同様、葉脈や茎をかじっている。	葉が無くなるほど食べていた。 茎だけ残っていた。	スノーは去年と同じような 食べ方をしている。
2日目 AM10時/気温28度/湿度57% PM9時/気温24度/湿度53%	葉脈中心に穴が空くほど かじっている。	葉脈は残し、葉の部分を かじっている。	2羽の食べ方には差があるようだ。
3日目 AM10時/気温27度/湿度60% PM9時/気温27度/湿度60%	葉脈中心にかじる。プチプチと音を 立てて引きちぎるように食べていた。	葉脈や茎を残し、葉の部分を 食べている。食べ方を観察したが、 葉を引っ張るようにしていた。	スノーは相変わらず固い部分が 好きなよう。だいいふくは 柔らかい部分が好きなのかな?
4日目 AM10時/気温27度/湿度60% PM9時/気温27度/湿度65%	葉脈をかじっている。 去年より茎は食べていない。	葉をランダムにかじっている。 茎も少しかじっている。	だいいふくは葉を引きちぎって、 食べているときに食べきれず ポロっと落としてしまうことがあった。
5日目 AM10時/気温27度/湿度56% PM9時/気温27度/湿度65%	葉脈に沿ってキレイに食べていた。	葉脈を残し葉だけを食べている。	5日間、スノーは葉脈、 だいいふくは葉を中心に食べていた。

◎スノーは葉脈や茎を中心に食べる



◎だいいふくは葉を中心に食べる



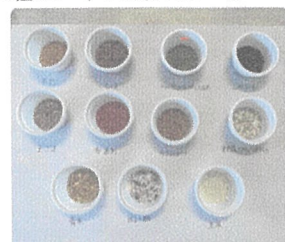
(2)1粒ずつ置いてごはん(シード)のどれを一番先に食べるか?9種のシード+生米+ボレー粉の11種で検証

	スノー	だいいふく
1回目	ひえ	カナリーシード
2回目	青米、きび	えごま
3回目	カナリーシード	カナリーシード

前回スノーがよく食べたカナリーシード
はやはり人気があるようだった。
意外にも生米は食べなかった。

(3)9種のシード+生米+ボレー粉の粒を1gずつに分けて1日(24時間)で2羽の文鳥が食べた量や好き嫌いがあるかの検証。

9種のシード+生米+ボレー粉



1gずつ分ける



合わせて11g



■ 24時間後

	きび	ひえ	クロレココーディングしたアワ	えごま	赤あわ		フルーツかりゅう	ニガシード	青米	生米	ボレー粉
スノー	0.7g	0.6g	0.9g	0.0g 測定不可	0.9g	0.3g	0.0g 測定不可	0.8g	0.6g	0.0g なし	1.0g
だいふく	0.7g	0.3g	0.4g	0.0g 測定不可	0.5g	0.0g なし	0.3g	0.8g	0.6g	0.0g なし	0.8g

※殻の残数…スノー(1.0g)だいふく(0.0g測定不可)

生米、カナリーシード、えごまがよく食べられていた。
ボレー粉はほとんど減っていなかった。前回同様ニガシード好まないようだった。

■ スノーの今年と昨年(換羽中)の差

	きび	ひえ	クロレココーディングしたアワ	えごま	赤あわ		フルーツかりゅう	ニガシード	青米	生米	ボレー粉
今年	0.7g	0.6g	0.9g	0.0g 測定不可	0.9g	0.3g	0.0g 測定不可	0.8g	0.6g	0.0g なし	1.0g
去年	0.0g 少量残す	0.0g 少量残す	0.7g	0.0g 1粒残す	0.4g	0.0g 少量残す	0.0g 少量残す	0.6g	0.0g なし		

全体的に去年の方がたくさん食べている結果になった。
やはり換羽中の方はたくさんパワーがいるから、たくさん食べるのかもと思った。好みに関しては変わらないと思った。

④シード粒を食べるスピードと食べ散らかしの差について考える。

スノー(成鳥)とだいふく(幼鳥)に同じごはん(生米)を1粒与えたときの飲み込む早さの観察。

	1回目	2回目	3回目
スノー	3秒	5秒	4秒
だいふく	1分	測定不能(飲み込めず)	測定不能(飲み込めず)

スノーは噛んで飲み込むまでがとても早かった。
パキパキと音を立てて生米を砕いて割っているように食べていた。
くちばしの動きがすり潰すかのようにしてから飲み込んでいた。だいふくも同じように食べているが、ポロっと落としてしまうことが続き、飲み込むことができなかった。

スノーとだいふくの食べるスピードを観察し、食べるのに時間がかかるだいふくは、噛んだりついばむ力がまだ弱いと思った。

だいふくはいつもケージの周りにたくさんのご飯やごはんを撒き散らしている。

スノーもごはんを掘ったりして撒き散らしているが、だいふくほどではなく、ケージ内も比較的綺麗な状態だった。

検証③のだいふくが24時間後に残した殻やシードが少なかったことから、くちばしや口の発達はまだ未熟なだいふくは、くちばしの中でシードを噛んでいる時間が長かったり、シードをつかんだまま他のところへ行ってしまうので、殻が餌入れの中に残っておらず床や周りにたくさん殻やごはんが落ちているのだと思った。

④わかったこと

スノーは前回と同じく小松菜の茎と葉脈が好きな様子で、だいふくは葉が好きな様子だった。

だいふくは柔らかな葉が好きなかなと思ったが、シードの食べるスピードを検証した時、だいふくの噛み砕くのがまだ上手ではなく、発達段階にあるのかなと思ったので、まだ柔らかい部分を好んで食べているのかもしれない。

去年との比較で、やはり換羽中はたくさん食べることがわかった。パワーがたくさんいるのだと思う。

だいふくが成鳥になったら、食べるスピードや小松菜の食べ方に今とどのように変化があるかまた調べたいと思う。

小松菜などの食べられる野菜に、βカロテンとビタミン類が入っていた。βカロテンが文鳥にとっても大事な成分であることがわかった。

前回も栄養をバランス良く摂取しているのだらうと思ったが、今回バランス良く摂取しなければ病気になってしまうことなども調べてわかった。

すごいなと思った。文鳥の口の中のを調べることで、より一層ごはんの食べ方について良くわかった。

2羽いることで、食べ方の違いや共通点もたくさん観察でき、比較できたことも多くあったので面白かった。

⑤今後の課題や反省

だいふくはおそらくオスで、スノーがしなかった鳴き方を今練習しているので、またメスとオスのごはんの食べ方や鳴き方、他の違いなどを観察していきたい。

最近スノーが服の袖の中やカバンの中に入ろうとしたり、穴を探しているので、その行動なども調べたいと思う。

大切な家族なので、これからも2羽を大切に育てたい。

⑥参考にした資料

■ふるなび <https://furunavi.jp>

■ぶんちょう大学かいぬし部 <https://buncho-univ.com>

■PECO <https://peco-japan.com>

■HatenaBlog bunchobunbun.hatenablog.com